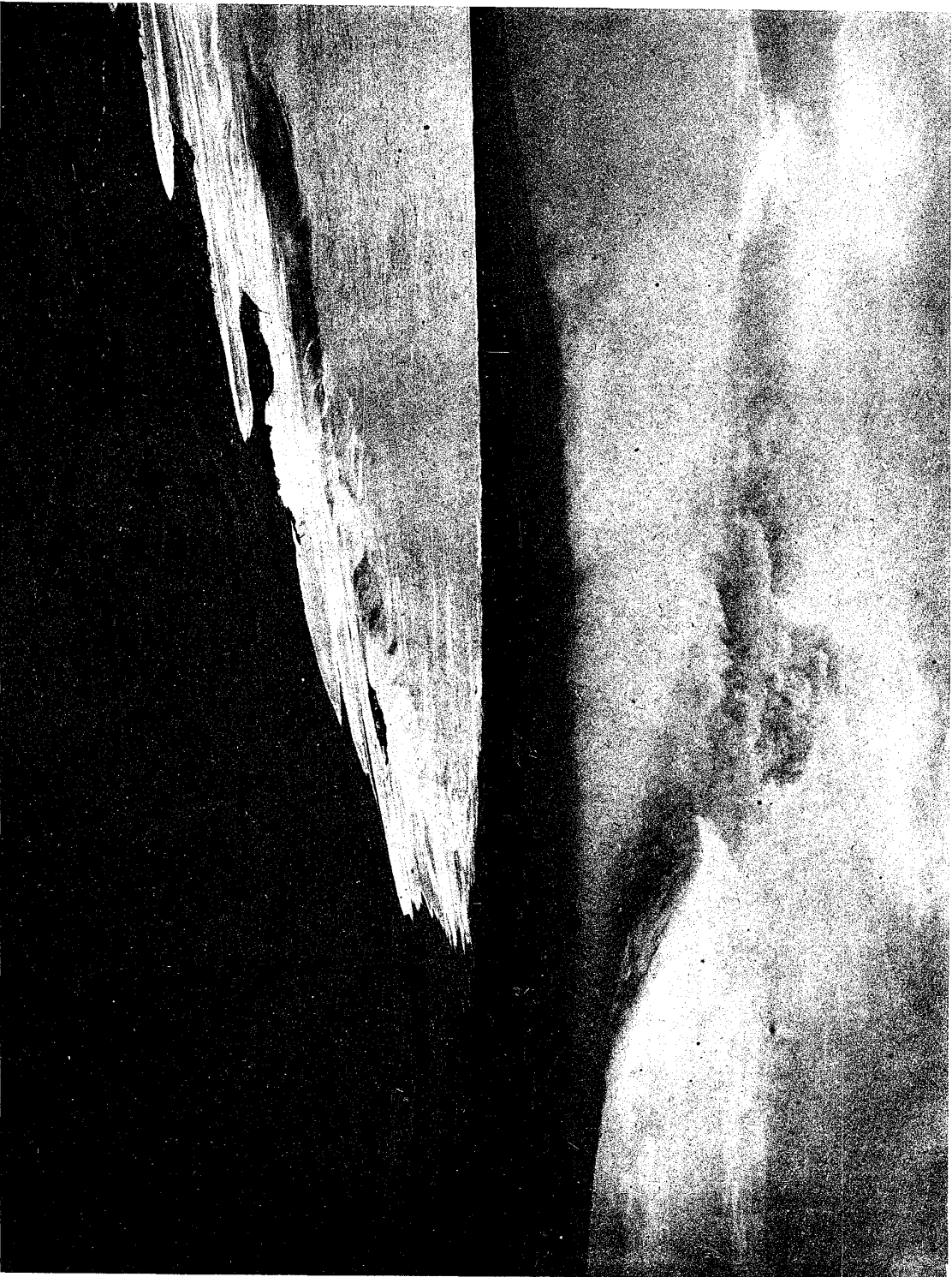


煙噴ノ岳ケ駒ルタ見リヨ村森朝日二十二月八年八十三治明



Konagatake volcano as viewed from Morimura. issuing smoke in the morning of August 2nd, 1905.

北海道駒ヶ岳火山地質調査報文

(明治四十年十二月脱稿)

理學士 加藤 武夫

第一章 總說

駒ヶ岳火山ハ北海道渡島國茅部郡ト龜田郡ノ境ニアリテ北緯四十二度四分東經百四十度四十一分ノ地點ニ屹立スル活火山ナリ、北ハ直ニ噴火灣ニ面シ南ハ所謂渡島山脈ニ接スレドモ其間ニ廣キ裾野ノ發達スルアリテ孤立ノ状態ニアリ、有名ナル函館港ヨリ北ニ當リテ直距離約三十五「キロ、メ」距リ同港ヨリ北鐵線ノ汽車ニ搭ズレバ一時間半ニシテ其山麓駒ヶ岳驛ニ到達シ得ベシ。(「キロ、メ」ハ「キロメートル」メ「ハ」メートルノ略以下同ジ)

駒ヶ岳火山ハ此處ニ北海道有數ノ奇景ヲ形成ス、吾人若シ噴火灣頭ニ登ユル此赭峰常ニ白烟ヲ噴クヲ望見スレバ必ズヤ「ネーブルス」灣頭ノ「ヴェスヴィアス」火山ヲ連想スルナルベシ。

登山ノ道ニアリ、一ハ西麓駒ヶ岳驛ヨリ函館、森村間ノ大街道ニ出デ南ニ向ヒ進ム事十數町ニシテ字燒山アリ此處ヨリ東ニ分レテ登ル道ナリ、他ノ二道ハ南麓ヨリ登ル道ニシテ留ノ湯ヨリスルモノト、大沼ノ落テ口銚子口ヨリ登ルモノ是レナリ。(地質圖及ビ卷末ノ登山ノ案參照)

本火山ニ關スル文書極メテ稀ナリ、邦文ニ屬スルモノハ隨所記入セシガ今左ニ外人ノ書目ヲ掲ク

1. Bridgford: Transactions of the Asiatic Society, vol. 2, p. 80 (Tokyo).
2. Milne: Transactions of the Seismological Society, vol. 11 (Tokyo).
3. B. Miford: Geographical Journal, vol. 31, p. 187 (London).